

## 第91回機器・部品メーカー懇談会

関西支部・部品運営委員会では11月22日(水)に大阪・太閤園にて標記の懇談会を開催しました。

### 部品運営委員長挨拶



最初に澤村 諭 委員長(ローム(株)社長)より挨拶がありました。「衆議院選挙の結果や日米関係の強化など、昨今の政治的な安定が経済に良い影響を与えています。JEITAの電子部品グローバル出荷統計は、本年2月以降8か月連続で前年比増、直近3か月実績と10、11月の予測は前年比2桁増となりました。車載・産業機器、ゲーム機、スマートフォンの新製品等に牽引されており、悪い状況ではありません。そうした中、本日はカーエレクトロニクス、ロボット、エネルギーの産業機器関連に加え、流通業界からもご講演をいただけることとなり、大変楽しみにしております。」

### クルマ社会の最新技術動向と電子部品メーカーへの期待 (株)デンソー

山中康司 副社長よりご講演いただきました。環境分野では、EV、FCVを含めて多様化するパワートレインへの対応、安全・安心では、ADAS / 自動運転において劇的に拡大しつつある技術領域への対応が大きな課



題となっています。技術開発を進めているAI研究やオープンイノベーションの取り組み、さらに、シェアリングエコノミーの進展を踏まえ、将来のモビリティ社会実現に向けたサイバー／フィジカル両面の取り組みが紹介されました。続いて、新見幸秀エグゼクティブアドバイザーより、車載化に求められる電子機器の信頼性向上に向け、わが国電子業界の総力を結集した新たな価値創出への期待が述べられました。



### 安川電機の新しい取り組み IoTの活用とその実現 (株)安川電機

藤野 賀須男 次世代制御プラットフォーム開発部長より、インダストリー4.0に対する同社のソリューションコンセプト「i3-Mechatronics」の取り組みにつ



いてご講演いただきました。学習・自律制御の技術開発により、多様な作業に自律的に対応し、人間と共存できるロボットを実現して行きます。ロボットの稼働状況を把握し、安定生産を支えるAIの活用、さらに、装置とロボットの融合により、工場の完全自動化に向けた課題を解決する自動化ソリューション「統合コントローラ」の実現に向けた取り組みが紹介されました。今後、ロボットへのAI搭載を進めて行くためには「デバイス発熱量の大幅な抑制」が大きな課題となります。

### エネルギー分野への取り組み～次世代型エネルギー マネジメントシステムを中心として (株)竹中工務店

松下昌宏 役員補佐よりご講演いただきました。同社が提唱する「竹中脱炭素社会モデルタウン」では、CO<sub>2</sub>



削減について、2016年比で20年に60%減、50年に80%減という極めて高い目標を掲げています。クラウドを活用した次世代建物管理システム「ビルコミ®」で



は、エネルギーのモニタリング・使用量予測から設備の最適制御までAIを用いて統合的に行います。蓄電・発電・パワコンを含め多様な電源を包含してマネジメントする「I.SEM®」の開発にも取り組んでいます。東京・新砂の自社拠点群におけるこれらの試行状況、さらに、水素社会に向けた実証の取り組みが紹介されました。建物のIoT化を推進するため、後付・外付可能でコンパクトなセンサー類の開発が要望されました。

#### 次世代コンビニの実現に向けたイノベーションの取り組み (株) ローソン

白石卓也 執行役員よりご講演いただきました。コンビニは「変化対応業」、「小商圏製造小売業」と考えています。農業から物流、金融、エンタメ、ヘルスケア、不



動産に至るまで、小売の枠を越えて多様なサービス展開が求められています。そのため「オープンイノベーションセンター」を開設し、サービス・テクノロジー分野の開拓を進めている所です。経済産業省の主導により本年4月に発表された「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」を踏まえ、RFIDと自動レジを用いた無人店舗の試行結果と課題、さらにRFIDプラットフォームによるサプライチェーン全体の革新構想が紹介されました。電子業界との連携に向けたヒントとして、カメラ/センサー等による動的リアルフロー分析により「実態を見える化」するデータ活用経営、デジタルとアナログの融

合によるお客様体験の価値向上について、提言がありました。

#### 電子部品業界の動向とパナソニック(AIS社)の取り組み パナソニック(株)

最後に、部品運営委員会を代表して、パナソニック(株)の坂本真治 常務執行役員より報告がありました。自動車業界で電動化・自動化が加速し、産業分野で自動



自律・最適制御ニーズが拡大する中、電子部品事業においても異業種・スタートアップとの協業によるソリューション提案力が必要で、社会課題解決に向けた価値提供が求められています。パナソニックにおけるAIS社と、その中で電子部品・制御機器を担当するインダストリアル事業の位置付け、車載・産業分野を含めた事業の方向性と取り組み事例が紹介されました。



会場の様子

建設・流通業界からの講演は今回が初めてですが、両産業を含めたIoTやAIの活用、さらにそれらを促進する電子部品への期待を認識すると共に、懇親会を含めて、お招きした4社幹部との有意義な情報交流の機会となりました。